



親子で“参加する”演劇鑑賞
演劇で親子のコミュニケーションについて考える

追手門学院大学（大阪府茨木市、学長：川原俊明）は、社会学部コミュニケーション・表現プログラムが展開する舞台表現プロジェクト(STEP)で、平田オリザ作の演劇作品「サンタクロース会議」を観客を巻き込んだ親子参加型演劇として公演します。

この演劇は、演劇のプロと学生がタッグを組んで行われる産学官連携事業です。

同期間に開催される追手門学院大学の大学祭「将軍山祭」の中で行なわれ、学生や地域住民などを来場者に迎えます。劇中の一部では観客の親子に声をかけ、会場一体となった親子参加型演劇を作り上げます。日頃育児や仕事に忙しい毎日をお過ごし親御さんと共に、楽しい一時を過ごして頂きます。

報道関係の皆様におかれましては、事前告知や学生の取り組みについてご取材くだされば幸いです。

- 1. 作品名 「サンタクロース会議」
- 2. 公演日程 2018年10月27日(土) 開演 13:00～
10月28日(日) 開演 11:00～ / 14:15～
※2日間で3ステージ。開場は開演時間の15分前。
- 3. 定員 各回50名
- 4. 会場 追手門学院大学5号館6階 5605教室(大阪府茨木市西安威2-1-15)
- 5. 料金 無料
- 6. 内容 子どもたちにとって夢のような存在であるサンタクロースについて、子ども達が抱く素朴な疑問。そんな疑問に答えるべく、大人たちが議論をしていくなかで、観客の親子にも声をかけながら舞台を進めていく。
- 7. 参加学生 37名
- 8. ゲスト出演 キャスト：高安 美帆（エイチエムピー・シアターカンパニー/舞夢プロ）
舞台監督：ニシノ トシヒロ（BS-II） 西野真梨子
協力：古川隆司（追手門学院大学）
- 9. 作・演出 作：平田 オリザ 演出：横田 修(追手門学院大学 社会学部 講師)

STEPとは

追手門学院大学社会学部コミュニケーション・表現プログラムが展開する舞台表現プロジェクトで Stage Expression Project の略。学生とプロのアーティストが、がっちり手を組んで、一般の観客の鑑賞に堪える舞台芸術作品の制作を目指すなかで、学生のコミュニケーションスキルや他者との協調性を身につけること目指します。2016年9月に設立され、今年で3年目。過去4回の公演で650名を動員。

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】 追手門学院 広報課 TEL：072-641-9590 足立・谷ノ内